

令和5年度 2学期学力向上対策(案)

R5. 9. 19 研究主任

月日曜日	9月							10月							11月							12月							3学期 (1月~3月)
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
学校行事等	第2学期始業式、選抜訓練、校内研修、全校朝会、修学旅行、修学旅行、振替休日、生徒朝会、2年生宿泊、3年生実テ、職員会議、特別支援巡回相談、校内研修、新入生歓迎会							新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会、新入生歓迎会							文化祭、振替休日、1年生遠足、3年生実テ、職業体験、個別面談①、個別面談②、個別面談③、個別面談④、個別面談⑤、職員会議、2学期期末テスト、2学期期末テスト、校内研修、生徒朝会、校内研修、全校朝会、3年生実テ、職員会議、生徒朝会、研究授業							第2学期終業式、冬季休業中							
3年	○ 朝学習①を実施する。(木・金) ・ 全国学調の問題で正答率が低かったものを抽出し、取り組ませる。(国・数・英) ・ 担当:3学年実施、各教科担当が採点・分析							○ 朝学習②を実施する。(木・金) ・ 朝学習①で正答率の低いものの類似問題(全国学調過去問)に取り組ませる。 ・ 担当:3学年実施、教科担当が採点・分析							○ 朝学習③を実施する。(木・金) ・ eライブラリ等を活用した学習を実施する。 ・ 内容は各教科担当が実力テスト等から分析し、必要な単元等を抽出する。							○ 朝学習③を実施する。(木・金) 1~3月 ・ 県立入試の過去問や、類似問題を実施する。 ・ 内容は各教科担当が準備する。 ・ 学年から各教科担当へ依頼する。							
テスト等との関連・学び直し	○ 授業時間内での解答・解説を行う。 ・ 朝学習で実施した問題の解答解説を授業時間内で適宜行う。自身の解答を振り返る場を設定する。							○ 放課後に補習の時間を設定する。(授業終了後~16:20) ・ 基本的に火・木は補習。水・金は自習とする。 ・ 補習の内容は、実力テスト等から生徒が苦手としている内容や、生徒からのアンケート等により決定し、各教科担当で行う。計画は別紙。							○ 朝学習①を実施する。(木・金) ・ 夏期ドリル確認テストの問題で正答率が低かったものを抽出し、取り組ませる。(5教科) ・ 担当:各教科担当が準備・採点・分析							○ 朝学習②の実施(木・金)1~3月 ・ R5学力診断テストで正答率の低い問題に取り組ませる。 ・ 担当:教科担当が準備・採点・分析							
1・2年	○ 朝学習①を実施する。(木・金) ・ 夏期ドリル確認テストの問題で正答率が低かったものを抽出し、取り組ませる。(5教科) ・ 担当:各教科担当が準備・採点・分析							○ 朝学習②を実施する。(木・金) ・ 学力診断テストで正答率の低い問題を抽出して取り組ませる。週末課題の未習問題の補充等含む。 ・ 担当:教科担当が準備・採点・分析 ・ 学年で教科担当に依頼する。							○ プレテスト(R4)実施 ・ 1週間の中で授業時間にて ・ 教科担当がプレテストの採点・分析を行う。							○ 冬休業中の課題 ・ 学力診断テスト							
授業改善・校内研修	○ 指導案の作成 ・ 指導案は共同立案とする。 → (プロジェクトを基本) ・ 北浦中授業スタイルを意識する。							○ 全職員による研究授業の実施 ・ 教員評価の授業と抱き合わせで行う。 ・ 指導案はフル ・ 学年内で参観者を計画し、相互参観を行う。 ・ 授業後は授業と参観者による振り返りの時間を設定する。 ・ 授業については学力向上プロジェクトでまとめ、全職員に向けて、共有する。							○ 学び直しと確認テスト ・ 教科の進度に合わせて授業内で2学期の学び直しを行う(学診対策含む) ・ 担当は教科担当が行い、学び直し後に確認テストを実施した結果より、個別の再指導や冬休業中の課題を検討する。							○ 研究のまとめと来年度に向けて ・ 学力向上プロジェクトでまとめ、全職員で共有する。 ・ アプローチ・スタートカリキュラムとして、学診や定期テスト、実力テスト等の分析を基にした学び直しを実施する。 ・ 学び直しの評価として教科内で確認テストを実施する。(3月4日~15日で実施) ・ 確認テストの結果をもとに再指導を行う。(3月18~21日)また、生徒の家庭学習の内容や学年の復習となる内容を春休みの課題とする。							
その他	○ 月に一度のプロジェクト研修で、組織目標をもとに学力向上について話し合う。実践と評価を意識して行い、PDCAサイクルを回す。																												
その他	○ 朝学習、研究授業、週末課題、放課後の補習等に関しては、別紙詳細資料を作成する。 ○ この計画の確実な実施のため、週報やホワイトボード(教務)、学年会(プロジェクト担当者)で確認しながら実施する。																												